

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		排水設備工事促進事業				②事業番号		6309			
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		平成 6 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし	
⑥根拠法令等		○ 法令 ○ 条例 ○ 規則		要綱		計画等		その他		法令等の名称	
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード		款		1		項		1		目	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		下水道課		細目		5	
								会計		下水道事業特別会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 公共下水道に接続可能な地域の住民		① 居住人数		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
個人宅内の排水設備工事が指定業者によって、基準・規格どおりに行われているか、事前審査及び竣工検査を行う。排水設備工事費用について銀行の融資を斡旋する。生活保護世帯などに水洗便所設置費用の助成を行う。		① 受理件数		件	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
多くの人に責任ある工事業者のもと、排水設備を適切に公共下水道に接続するように促す。		① 接続件数		件	
		① 計算式			
		②			
		② 計算式			
		③			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
水洗化の促進を図る。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	
		施策中		4 下水道整備の推進	
		施策小		1 下水道の整備	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	居住人数	人	2,316	1,618	2,000	2,000	2,000	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	受理件数	件	125	177	140	200	200	
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	接続件数	件	121	169	132	200	200	—
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	1.10	1.10	1.10	1.10		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	8,918	8,483	8,395	8,395		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	0	0	0	0		—
	直接事業費	千円	8,918	8,483	8,395	8,395		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		—
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	8,918	8,483	8,395	8,395		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	下水道事業の開始と共に排水設備の設置が必要となった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	まだ、下水道が整備されていない地域も多いため、今後も事業量に変化は見られないと思われる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価	A
--------	---

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価	A
--------	---

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価	A
--------	---

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など	—			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—			